

いのち 生命のメッセージ展

THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

2025 in 滋賀

生命のメッセージ展とは。。

犯罪・事故などにより、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役の展示会です。犠牲者一人ひとりの等身大の人型オブジェはメッセンジャーと呼ばれ、生前の写真や家族の言葉を添えて、足元に「生きた証」である遺品の靴を置き、生命の大切さを訴えています。生きたくても生きられなかった「メッセンジャー」からの願いを感じてください。



日時

2025年4月4日(金)・5日(土)・6日(日)

13:00-19:00

10:00-19:00

10:00-18:00

場所

ピアザ淡海 205号室,206号室

(滋賀県大津市におの浜1丁目1-20)



ピアザ淡海

4月6日 シンポジウム 13:00-16:30

会場：ピアザ淡海 3階大会議室

内容 被害者の声を届ける

第一部 13:15-14:45

講演・御手洗さん (対談相手 児島早苗さん)
「犯罪被害者・きょうだいの居場所」

第一部 15:00-16:30

講演・青木和代さん
(少年犯罪被害者「ゆうの会」代表)
「少年法改正の前日に息子の命を奪われて」

講師・御手洗さんのご紹介

2004(平成16)年の佐世保小6女児殺害事件の被害者の兄。事件後、家族を支えるために自身の気持ちを隠して生活していたため過度な負担がかかり、生活上の困難を抱えるなどの経験をし、現在は全国各地で講演活動を実施している。

是非、あなたの「大切な人」とお越しください

主催 少年犯罪被害者「ゆうの会」

協力 特定非営利活動法人いのちのミュージアム、特定非営利活動法人KENTO